

第3回AITカーボンニュートラル地域貢献セミナー

地域に貢献する技術とエネルギー・資源を活用した環境づくり

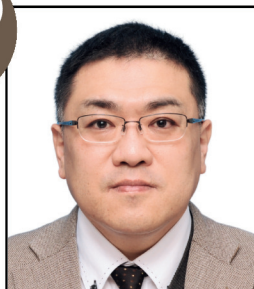
愛知工業大学では、カーボンニュートラルの実現に向けた取組を行っています。本セミナーでは、地域の産業に役立つ技術開発の現状と多様なエネルギー・資源の有効活用について紹介します。本学と地域社会が一体となって次世代へ持続可能な環境を残すことを目指していきます。

オンライン開催 参加費無料 定員約50名 全4回(1回でも複数回でも参加可能)

15:00-16:15

10/30
(木)

10/23
締切



セミナータイトル

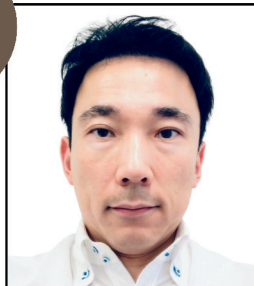
2050年におけるカーボンニュートラル社会における電力供給システム —マイクログリッドへの期待—

担当講師 エコ電力研究センター長/工学部電気学科 雪田和人 教授

15:00-16:15

11/6
(木)

10/30
締切



セミナータイトル

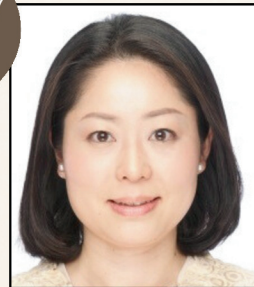
カーボンニュートラル社会実現に向けた次世代鉄鋼材料の開発

担当講師 工学部機械学科 小川登志男 准教授

15:00-16:15

11/27
(木)

11/20
締切



セミナータイトル

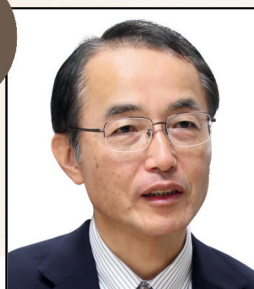
地域資源の活用により実現する低炭素な街づくり

担当講師 工学部建築学科 武田美恵 教授

15:00-16:15

12/4
(木)

11/27
締切



セミナータイトル

エネルギー局所集約効果を利用した燃料製造とケミカルリサイクル法

担当講師 工学部応用化学科 佐治木弘尚 教授

講座内容詳細は2ページ目へ

AIT 愛知工業大学

ゼロカーボン推進室

✉ zero-carbon@aitech.ac.jp

お申込みは検索または二次元コードから

<https://form.qubo.jp/chiikikouken2025>



講座内容詳細

10/30
(木)

2050年におけるカーボンニュートラル社会における電力供給システム—マイクログリッドへの期待—

エコ電力研究センター長/工学部電気学科 雪田和人 教授

2050年のカーボンニュートラル社会の実現を目指し、再生可能エネルギーを主力電源とした様々な取り組みがなされています。この一つに太陽光発電、風力発電、燃料電池、蓄電装置とエネルギーマネジメントシステム(EMS)からなるマイクログリッドがあります。本学エコ電力研究センターは、設立から20年以上に渡りマイクログリッドに関する研究に取り組んできています。本セミナーでは、本学のマイクログリッドに関する研究を紹介するとともに、国内外における動向についてもお話します。

11/6
(木)

カーボンニュートラル社会実現に向けた次世代鉄鋼材料の開発

工学部機械学科 小川登志男 准教授

日用品から自動車に至るまで、鉄鋼材料はさまざまな製品に使用されており、我々の生活において欠かすことのできない材料の一つです。一方で、鉄鋼材料製造時の二酸化炭素排出量は極めて多く、その排出量を削減することはカーボンニュートラル社会の実現に向けた大きな一歩となります。そこで本セミナーでは、自動車に使用される鉄鋼材料を主な対象とし、カーボンニュートラル社会の実現に向けた鉄鋼材料開発の方向性についてお話しいたします。

11/27
(木)

地域資源の活用により実現する低炭素な街づくり

工学部建築学科 武田美恵 教授

近代以前は、身近にある自然環境の中から快適かつ安全に過ごすための住まいに必要な材料を調達してきました。化石燃料や原子力に頼り始めた時代から、技術の進歩にばかり目が向くようになり、自然と共生することにより得られるお金では買えない財産に気づきづらくなりました。地域に眠る資源に目を向ける大切さについてお話します。

12/4
(木)

エネルギー局所集約効果を利用した燃料製造とケミカルリサイクル法

工学部応用化学科 佐治木弘尚 教授

温室効果ガスを起源とした地球規模の気候危機により、生物種の絶滅や生活基盤の崩壊が懸念されており、脱炭素社会の実現に向けた、新エネルギーや効率的物質循環技術など多様な技術革新が不可欠となっています。私の研究グループでは、マイクロ波エネルギーやメカノケミカルエネルギーを反応点に集約させて局所高温(高圧)反応場を構築し、脱水素反応、C-C結合形成・切断反応、あるいは二酸化炭素のメタン化反応などを効率良く進行させる新反応の開発に取り組み、ケミカルハイドライドからの水素抽出法、ポリマーのケミカルリサイクル法、あるいは炭酸塩のメタン化法への展開研究を進めています。SDGsに寄与し、未来社会と地球環境を守る基盤技術の提供を目指したこれまでの研究成果の概要をお話しさせていただきます。